

## 有島武

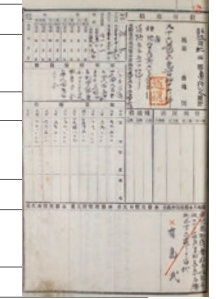
パネル展

有島武郎、有島生馬、里見淳の父・有島武(ありしま たけし)は、川内・平佐(現・鹿児島県薩摩川内市)の領主・北郷家の下級武士として明治維新を迎えました。維新後、明治政府で大蔵省の官僚として国債局長や横浜税関長などを務め、退官後は実業界で活躍しました。また、現在のニセコ町に「有島農場」を不在地主として拓きました。74歳でその人生の幕を下ろすまで、武はいかに激動の時代を生きたのか。その足跡を辿ります。

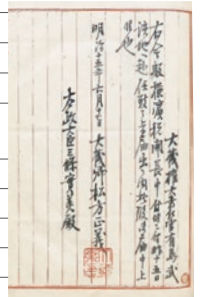


## 有島武 略年譜

1842	天保13	有島宇兵衛と曾與の一人息子として薩摩国平佐郷平佐村(現・薩摩川内市平佐町)に生まれる。父は北郷家第12代当主・北郷久新の近侍
1847	弘化4	北郷家のお家騒動(「平佐崩れ」)に関係し、父・宇兵衛がトカラ列島の臥蛇島へ配流(罪状は不詳)。以降、8年余りを祖父・兼次らの世話になる
1856	安政3	14歳で13代当主・北郷久信に召出される(この頃元服して家督相続)
1859	安政6	軍馬役を命ぜられる
1860	万延元	久信と小松帯刀の従者として長崎へ(父・宇兵衛赦免)
1862	文久2	久信と江戸へ(三位大原重徳の東下の護衛として江戸へ行き、江川太郎左衛門の塾で学ぶ、大鳥圭介や大山巖を知る)
1864	元治元	幕長戦争(長州征伐)に従軍(慶応元年に帰国)
1865	慶応元	洋学校開成所で松木弘安(寺島宗則)から、同郷の園田孝吉らと英語を学ぶ。この頃御用人格となる
1870	明治3	鹿児島藩知政所三等指南役
1871	明治4	一等副教官となる(父・宇兵衛54歳で死去)。この年末、北郷久信と上京、文部大丞町田久成の家に身を寄せ大学南校に通う
1872	明治5	町田の世話で租税寮(のちの大蔵省、財務省)出仕
1877	明治10	関税局と租税局兼務の権少書記官に就任 5月12日、新渡戸稲造の養父・太田時敏の媒酌で山内幸子と結婚(武35歳幸23歳)
1878	明治11	<b>3月、長男・有島武郎誕生</b> 6月「関税諸規則税目調査案」を在外日本公使に説明のため欧州に出張(翌年2月帰国)
1879	明治12	関税諸規則草案取調御用掛
1880	明治13	関税局兼務のまま議案局少書記官。この年、長女愛子誕生
1881	明治14	関税局権大書記官・擬定税目取調を命じられる(外務省に出務)。港則噸税領事章程などの調査も命じられる
1882	明治15	関税局長心得兼横浜税関長に就任し、横浜月岡町(現・西区老松町)の官舎に移る。 <b>11月、次男・有島生馬誕生</b>
1888	明治21	<b>7月、四男・里見淳誕生</b>
1890	明治23	関税局長兼横浜税関長に就任、勅任官二等・従四位。コレラに罹るが夫人の応急処置で一命をとりとめる
1891	明治24	国債局長に就任、麹町区に移り、翌年赤坂区氷川町へ転居
1892	明治25	農商務省管下製鋼事業調査委員(後の官営八幡製鉄所を提案)、鉄道会議議員(鉄道国有化を提案)に任ぜられる
1893	明治26	5月、大蔵大臣渡辺国武と「政治上の意見の対立」で依頼免職し、鎌倉材木座の別荘に隠棲
1894	明治27	松方正義の推挙で島津公爵の家扶名義で第十五国立銀行世話役に就任、氷川町へ転居
1895	明治28	日本郵船監査役、日本鉄道会社専務・京都鉄道会社、山陽鉄道などにも関係する
1897	明治30	同郷で北海道開拓に関与していた湯地定基に相談し、マッカリベツ(現・ニセコ町)に農場を計画、栃木県黒田原に別荘を持つ。 長女・愛子が山本直良と結婚
1898	明治31	北海道のマッカリベツ原野貸下げを正式出願
1899	明治32	前年の申請を一旦放棄し、娘婿山本直良の名義で再申請し、9月に認可を得る(山本農場)
1900	明治33	吉川銀之丞が小作人4家族をつれて、「山本農場」へ入場。山内家の縁者・久慈千治が工事を請け負う
1901	明治34	有島武、武郎ら農場を初訪問
1902	明治35	吉川が山本農場管理人となる
1903	明治36	東京市議会議員を務める(2年間)
1908	明治41	山本農場を有島武郎名義にする(「有島農場」)
1914	大正3	家族で鹿児島へ里帰り。「旧佐村農場」(現・ニセコ町)を購入し「第二有島農場」とする
1916	大正5	武郎の妻・安子8月2日に死去 12月4日、有島武死去



有島武の名がみられる「北海道国有未開地処分法」明治30年区画地貸付台帳  
[北海道立文書館蔵]



権大書記官有島武横浜税関へ赴任ノ件(明治15年)[国立公文書館蔵]



札幌・上白石の家にて(左から武、妻・幸、長男・武郎、武郎の妻・安子)

## 【関連イベント】

2020年夏期、有島武の出身地でもある鹿児島県・薩摩川内市にあり、当館の姉妹館である川内まごころ文学館の財部智美学芸員をお迎えして講演会を開催する予定です。

※詳細は当館ホームページまたはお電話でご確認ください。



ニセコ町・有島記念館

NISEKO, ARISHIMA TAKEO MEMORIAL MUSEUM

〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地 Tel.0136-44-3245



## 【交通アクセス】

自家用車 → 札幌、新千歳空港より自家用車で約2時間  
JR → ニセコ駅より徒歩約30分(約2.5km)、タクシー5分  
バス → 道南バス[倶知安駅発]「有島記念館前」下車徒歩5分  
【駐車場】P → 自家用車用約30台・大型バス用約15台完備